

平成 30 年度 第 2 回朝倉市まちづくり審議会 議事概要

1. 会議概要

日 時	平成 30 年 11 月 19 日（月）19：00～21：10	
場 所	朝倉市役所 別館会議室	
出席者	委 員	出席：21名 欠席：3名
	朝倉市	総務部長、 事務局（総合政策課）4名
	コンサル	ジャパンインターナショナル総合研究所
次 第	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 議事 （1）計画骨子（案）について （2）基本構想（案）について （3）施策体系（案）について 4. その他 5. 閉会	
配布資料	（資料1） 計画骨子（案） （資料1） 別紙1（基本計画イメージ） （資料1） 別紙2（施策・基本事業イメージ 資料編） （資料2） 基本構想（案） （資料3） 施策の体系図（案） （資料3） 別紙（新体系（案））	

2. 議事要旨

（2. 会長あいさつ）

- ・総合計画というだけに内容が非常に多岐にわたり、つかみにくいところもあるけれども、それぞれの立場からの確かな意見を頂き、内容を深めていけたらと思う。
- ・基本構想「目指すまちの姿」は、総合計画全体の非常に重要なものである。ぜひ、しっかりご審議いただきたいと思う。よろしく願います。

（3. 事務局説明）

（1）計画骨子（案）について

発言者	質問概要	事務局答弁概要
1	（4）計画の構成と期間で、基本計画は今後の4年間ということだが、来年から元号が変わるので、十分、文章化のとき気を付けていただきたい。	年号が変わることに対する対応としては、本文中に西暦と平成と併記する対応を考えている。今後、事務局で検討したい。 （企画政策係長）
	100%、平成34年というのではないので、西暦を入れるべきものか。新しい元号になったときに何なり3年とかを入れるべきではないか。	おっしゃるとおりで、西暦が一番いいと思っている。どういう形が市民に分かりやすいかを考え、対応したい。 （総務部長）

発言者	質問概要	事務局答弁概要
2	市が出すもので、総合計画以外にも年号のことは多くあり、全体が統一されたほうがいいと思う。十分に検討し、分かりやすくやっていただければと思う。	
3	(3) 計画の性格の「性格」とは何か。多分、行政用語と思う。	総合計画は、市条例で策定が定められており、市の最上位計画となるという内容を、計画が持っている性格ということで記載させていただきたいと考えている。 (総合政策課長)
	計画策定の趣旨は分かる。もう少しかみ砕いて、趣旨とどう違うのか。	趣旨は、どのような経緯で策定するようになったかの内容である。 (コンサル)
4	的確な答えは難しいが、趣旨は背景や、なぜ必要で何を指すかになると思う。性格は位置付けのような感じではないか。	行政用語で、的確に説明できる答えがなく、次回までに「性格」「趣旨」の違いを説明したい。あるいは、その内容について文書を郵送したい。 (総合政策課長)
5	最初から「位置付け」と書いたほうが分かりやすいと思う。	
6	ここは、小さい文言というよりも全体像を示している。全体像としてはこれでいいか。	
委員一同	異議なし	

(2) 基本構想(案)について

発言者	質問概要	事務局答弁概要
7	「人、自然、歴史が織りなす 水ひかる 朝倉」とあるが、「人」を最初に持ってきた理由は何か。また、後ろに「朝倉」と入れた理由は何か。朝倉地域という広い意味で「あさくら」と平仮名にする方法もある。	市民あつての朝倉市であるので、「人」を最初に持ってきた。言葉の響きも考慮した。 「朝倉」が「朝倉市」ではないのではないかとことだが、これまでの総合計画や他の自治体も市を省略しているケースが多いので、このように表記している。 (企画政策係長) 「朝倉」についても、漢字、平仮名のいずれがいいのかは、ぜひ検討してほしい部分である。また、文章に「ときには闘いながら」という表現があるが、庁内でも「戦う」「闘う」「たたかう」と意見が分かれた。これらは庁内検討委員会で協議したものをそのまま案として提示しているので、議論していただきたい。 (総合政策課長)
	表題は漠然としたものなので、サブタイトルがあるほうが明確で分かりやすいと思う。サブタイトルは付くのか。	第1次総合計画の都市像にはサブタイトルが付いているが、2次ではコンパクトで市民に響きがいいようにとサブタイトルは省いた。 (企画政策係長)
8	市内は豪雨で甚大な被害があった。まだ復興中で、河川敷には被害が残っている。将来都市像にある「水ひかる」とあるが、何年すれば、そうなるのか。	復興は始まったばかりで、「水がひかる」状態になってないところは多い。総合計画の施策や事業によって、被災前よりもいい朝倉市を目指して「水ひかる」という言葉を使った。市復興計画の期間が10年と長い、それを乗り越えて「水ひかる」まちを目指したい。 (企画政策係長)
9	目指す姿であるため、復興が進み、将来「水がひかる」ところまで持っていこうという完成イメージと考えていいと思う。	

発言者	質問概要	事務局答弁概要
10	サブタイトルについて、第1次総合計画では、サブタイトルを見ても、中身をきちんと読まないと分からないものがあった。みんなが一目見て共通のイメージが浮かぶものでないと、サブタイトルを付ける意味がない。メインとの整合性もあるが、分かりやすいサブタイトルにする必要がある。	
11	サブタイトルを入れるかどうか、入れるとしたら、分かりやすいサブタイトルを検討頂きたい。	
12	「地域に根付く多種多様な歴史・文化といった朝倉市の魅力を磨き、組み合わせ」と書いてあるが、どういう考えか。	市の歴史や文化、景観、水などの豊かな自然といった地域資源をさらに磨き上げたり、埋もれているものを掘り起こしていくということである。 キャッチフレーズに「織りなす」という言葉を使っているのは、それら複数の要素を組み合わせ、さらに素晴らしい姿にしていきたいという意味である。 (企画政策係長)
	歴史・文化を掘り起こすことで、本当に朝倉市民がより良くなるのか。それとも、観光など市を盛り上げる材料として取り上げていくということか。	目指すべきまちの姿をここで説明している。観光などの面で市の知名度が上がり、訪れる人が増えるといった点も含まれる。 (係長) 例えば地域の祭りは、地域の方が担い手になっていただく必要があるため、祭りを慈しんでもらい、担い手の育成をしていただく必要がある。また、祭りの観光客が多くなると、伝承の形につながらない。こういった地域にある祭りや歴史建造物などの価値の認識が大事である。そういう意味で、こういう表現をした。 (総合政策課長)
13	基本理念を聞いただけで、「水ひかる」が災害復興のことだと受け取られるのか。下の文章を読んで、はじめて復興につながるということが分かる。	復興・復旧については、市の復興計画で復旧・復興ビジョンを掲げているので、総合計画では、復旧・復興以外に目を向けるように気をつけて将来都市像を設定した。 (企画政策係長) 復旧・復興と別ではなく、基本計画、基本構想では、復興を見据えながら、それ以外の事業も両輪として考えている。ただし、復旧・復興はそれに関する計画に譲る。 ご指摘のとおり、1行目の「人、自然、歴史が織りなす 水ひかる 朝倉」には、災害に対する言葉は含まれていないが、下の文章の中で触れるようにしている。こういう形で、案として作ったというところをご理解いただきたいと思う。 (総合政策課長)
	最後の「朝倉」が「うきは」になっても違和感がない。朝倉の本当の特徴が見えていないのではないか。	おっしゃるとおり、東峰村や筑前でも同じような形にとらえられるかもしれないが、朝倉市のシンボルを考えて言葉を削ると、このような表現になる。委員の意見を聞かせてほしい。 (総合政策課長)

発言者	質問概要	事務局答弁概要
14	たたき台が出されて、次回までの宿題が出たという捉え方でいいか。	進め方としては、次回、第3回審議会では素案を出して、市長が諮問する形を取りたい。今日は、この場で多くご意見を頂き、調整を行いたいと考えている。 (企画政策係長)
15	素案までに修正できるのか。	可能である。今回は、市としての案を提出している。 (企画政策係長)
16	被災からどのように復旧・復興を進めていくのか、市民の関心が強い。重点的に取り組む分野のところで、災害復興への気持ちが施策ににじみ出るような表現が入れられないだろうか。市民が読んで、「自分たちはこのように元気になるんだ」と見える表現にしていきたい。	
	「水の文化村」が一時がれき置き場になっているが、そこがどう生かされていくのか、日頃よく感じる場所である。	基本構想の中に「水の文化村」という具体的な文言が入れるのは難しいところがあるが、基本事業の中で出てくる可能性はある。おっしゃっていただいたことは貴重な意見として承り、庁内の検討委員会に返して案を作り、市長の諮問案として審議会に提出していく段取りである。 (総合政策課長)
17	審議会は今日で終わりなのか。今日出された疑問に対する答えを出して、もう一度審議すべきではないか。急ぎ過ぎると、市民の考えをとらえないまま決定がなされる心配がある。	次回の第3回審議会でも、素案という形で、市長が諮問する予定である。当初の予定では5回程度、審議会開催を予定しており、その中で計画素案に対して意見を言ってもらいたい。 来年3月議会で計画を上程する計画を進めていきたいと考えている。 (企画政策係長)
	水の問題については、「闘いながら」という言葉は、豪雨災害の被災者からみると疑問に思う言葉で、カットしたほうがいいのではないか。	「ときには闘いながら」という表現に関しては、意見を頂いたということで預らせていただきたい。 (総合政策課長)
	3月議会に出さなければいけないのか、6月議会では駄目なのか。3月議会に出すためには1月には決めないと出せないのではないか。	年度内の計画策定を目標に審議会に諮らせていただいている。議論が闊達になり、もう少し練ったほうがいいということになれば、持ち帰らせていただかなければならない。申し訳ないが、この場では、「3月議会の上程を目指している」としか言えない。 (総合政策課長)
18	住み続けたい、住んでみたいと書いてあるが、住み続けるには仕事や生活の安定などの環境が整っていない限り、そう思わないのではないかと。基本構想だからその点に触れず、「魅力を磨いたり、文化を組み合わせたり」としたのか。	基本構想について、「住み続けたい」という理由になる、雇用などのさまざまな問題があると思うが、具体的には施策や事業で示したい。将来都市像については、普遍的、一般的なイメージで整理している。 (企画政策係長)
19	将来都市像について、第1次総合計画では「水を育み、街を潤す、健康文化都市の創造」となっていたが、第2次では、「健康文化都市の創造」という言葉がなくなっている。時代とともに、状況が変われば、方向性も変わってくると思うが、第1次と第2次の将来都市像の関係性について、市の考え方を教えていただきたい。	第1次と第2次の都市像の整合性について、「水」というところで、表現は違うが、基本的な考え方は引き継いでいる。健康文化都市については、合併後すぐに定めた新市建設計画の都市像がベースになって第1次総合計画が作られたため、健康文化都市という言葉が入った。今回、表現としては引き継いでいないが、施策の中で継承している。

発言者	質問概要	事務局答弁概要
		今回は災害もあったため、文言を一部変えさせていただいた。 (企画政策係長)
20	短い文章、1つのキャッチフレーズの中に何もかも入れるのは難しいと思うが、今日の意見を庁内もう1回練っていただき、答えていただきたいと思う。	
	後藤委員から出た、第3段落目が分かりにくいという意見については、文章が長すぎて、2つに分けたほうが良いと思う。そのあたりの書き方も検討してほしい。	
	目指すまちの姿については、この辺でよろしいか。	
委員一同	(異議なし)	

(3) 施策体系(案)について

発言者	質問概要	事務局答弁概要
21	これまでの観光は、単にPRすればいいという捉え方だったが、今後は人を呼び込み、産業として捉える時代である。 分野毎の基本目標に今回初めて、5「豊かな地域資源を活かした産業、観光の振興」が取り上げられているが、【農林業、商工業、観光】で終わっている。観光というと、道路網の整備だけでなく、商工観光課も観光の担当で、グリーンツーリズム、農林業も関わってきて、観光の分野が広がっているので、観光ではなく、「観光業」なり「観光産業」という言葉を使ってほしいと思う。	5については、産業分類の中に観光業が入ってなく、それで分けているところがある。観光業にしたほうがいいのかについては、持ち帰り、検討したいと思う。 (企画政策係長)
22	4「時代につなぐ良好な環境の保全と創出【環境】」ということで、今のところは平成25年度に策定された第1次計画をそのまま掲載されていると思う。 現在、福岡県では第四次福岡県環境総合基本計画(福岡県環境総合ビジョン)に基づき取り組んでいる。その中では、「1. 低炭素の社会の構築」「2. 循環型社会の構築」「3. 自然共生社会の構築」となっている。 案の中には、低炭素社会の構築が具体的に入ってなく、自然環境の保全の基本事業の中に地球温暖化対策の推進が書かれているが、現在はそれが第1番の目標になっているので、福岡県に合わせた書き方にしていきたい。 こちらについては、環境課が地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、実行計画を作られておられるので、環境課と話し合いながら作成していただきたい。	環境分野の施策と基本事業については、市の行政評価の体系に示している施策、基本事業をそのまま載せている状態である。今後、環境課と協議し、意見を踏まえて検討したい。 (企画政策係長)
	循環型社会の構築については、第1次総合計画に「4R」が入っていたので、その辺もきちんと入れていただきたいと思う。	
	基本目標に「4. 次代につなぐ良好な環境の保全と創出」とあるが、難しく感じる。まず、「次代」ではなく、「次世代」ではないか、創出も分かりにくいと思うので、分かりやすい言葉を検討していただきたい。	
		基本目標は、庁内策定委員会でも表現について結論が出ず、審議会でご意見を聞くことになった。「次代」と「次世代」の使い方、「創出」に代わる言葉がないか、今後、検討していきたい。 (企画政策係長)

発言者	質問概要	事務局答弁概要
23	私は環境でいいと思う。県でいうと、環境課があり、自然環境係などがある。一番上は環境になるので、環境に合わせていただければと思う。	庁内の策定委員会では、「良好な環境」という表現については、自然環境や生活環境があるため、単に「環境」という言葉を使っている。 生活環境の保全も、最終的には自然環境に直結するため、自然環境でいいのではないかという意見も庁内で出たところである。 (企画政策係長)
24	基本目標「8. 生涯にわたる学び、挑戦、活躍の推進」の「文化の振興」に、「鑑賞・活動の機会の提供」とあるが、どこのグループも練習会場に困り、社会人ブラスバンドも解散して、ほかの地域に行ってしまったという状況である。項目の中に、「公共施設の有効利用」という形で、練習会場として開放できるような工夫をして、バックアップしていただければ、活動の勢いも出てくると思う。希望である。	ご意見として賜りたい。 (企画政策係長)
25	<p>「5. 豊かな地域資源を活かした産業、観光の振興」の、「農林業の振興」の基本事業に林業が1つも入っていない。 今年の税制改正で、国民1人当たり1,000円を徴収し、森林環境譲与税という形で各市町村に配分され、その税で森林を管理しなさいという非常に重要な施策が決まったにもかかわらず、林業については何も書かれていないのは寂しいという意見である。</p> <p>環境と林業は、同じようで同じではない。林業は、あくまでも木を育てて生産するのが産業である。産業の振興で農林業の振興とある限り、何らかの形でうたっていたきたい。また、国が国民から徴収する税を財源に市町村が譲与税としてもらう限り、ここで何かうたわないと、後で大変なことになるのではないかと心配している。</p>	<p>林業に関する基本事業がない点については、内部で再度検討し、その検討結果を示したい。 林業関係としては、4番の環境分野の「水とみどりの保全」にも関係してくるかと思うが、この点については再度整理させていただきたい。 (企画政策係長)</p> <p>林業とみどりの保全は、全く違う言葉である。農林業と書いている以上は、林業をどう振興させていくか、基本事業の中に入れておくべきと思う。今の話は、強く受け止め、持ち帰らせていただきたい。 (総合政策課長)</p>
26	<p>「2. 市民協働のまちづくり」の基本事業だが、災害を経験してコミュニティ活動の大事さをあらためて認識した。できれば「市民協働のまちづくり」が上にあつたほうが流れがいいと思う。協働意識の醸成を大事にしていければいいと思う。</p> <p>林業については、山の手入れができていなかったことで大きな水害になったということもあり、これはきちんと入れてほしい。</p> <p>基本タイトルには、「人、自然、歴史」が入っているのに、8番の施策に「生涯学習、スポーツ、文化」と「歴史」が入っていない。朝倉市内の歴史は、非常に大きいものがある。季節ごとに、市内の歴史や文化を博物館で一緒に展示していただけると、もっと誇りの持てる歴史や文化につながっていくのではないかと思うので、「文化の振興」に、「歴史、文化の振興」と入れていただければ、大変ありがたい。</p>	<p>順番については持ち帰り検討する。 (企画政策係長)</p> <p>8番の「歴史・文化の振興」に変えてはどうかという点も検討させていただきたい。 (企画政策係長)</p>
27	<p>人口減少の中、全体的に移住・定住の推進やU・Jターンの推進という言葉が出てきていない気がする。</p> <p>「6. 快適で住みよい、都市基盤の充実」も住環境と思う。空き家対策やUターンを</p>	<p>第1次総合計画には人口増対策の施策や目標がなく、まだ詳しい議論ができていない。ぶら下げるところとしては、「6. 快適で住みよい、都市基盤の充実」の「市街地の整備」の中の「住環境の整備」が考え</p>

発言者	質問概要	事務局答弁概要
	進めるための施策が、もっと分かりやすく出てくるような単語が、基本目標にあってもいいのではないかと思う。	られ、新たに「住環境の整備」という項目を作ったが、基本目標にその内容が分かるような表現にしてはどうかということ、施策項目として1本追加するなど、持ち帰って検討させていただきたい。 (企画政策係長)
28	<p>「6. 快適で住みよい、都市基盤の充実」の「市街地の整備」に各事業が挙げられているが、市街地には中心市街地のイメージがある。公園や適切な土地利用推進などの住環境関係は市内のどこの地域でもあるので、何か違う言葉があるのではないか。</p> <p>住環境の整備についても、具体的な内容が見えにくい。</p> <p>基本目標6と3の基本事業に「バリアフリーの推進」が入っている。言葉が同じで、意味合いがどう変わってくるのかが分からないので、内容の整理していただきたい。</p>	これを作成するとき、事務局もおかしいと思った部分で、右半分については現行の行政評価の体系をそのまま記載している。「適正な土地利用推進」であれば、地域全域にかかる話であり、バリアフリーも、障がい者に対する施策としてのバリアフリーとか、道路や住宅等のまちづくりの中のバリアフリーと、2つ同じように出てきているので、ご指摘の点についてはきちんと整理していきたいと考えている。 (企画政策係長)
29	障がい者のところで、「障がいがある人もない人も」ということも含めていうなら、「ユニバーサルデザインのまちづくり」のほうがより適切ではないかと思う。	
30	前回会議で、観光インバウンドの話が出たが、今、国では外国人材の法案の議論がされている。今後、外国人が増え多文化共生社会の観点から、行政サービスのあり方も変わってくると思う。例えば、基本目標9の「分かりやすい行政情報の提供」に入るのかもしれない。今まで技能実習や留学生のアルバイトという形であったが、間違いなく拡大の方向にいき、朝倉にも外国人が入ってきて、行政の課題も変わってくると思うので、どこかに入ってしまうべきかなと思う。	多文化共生については、市を取り巻く環境は変化しているが、復旧・復興ある中で、計画期間の4年間で何をするかである。例えば、施策を1本作った場合、事業が何もないと、行政評価とも連動しており、好ましくないと考えている。それらは、計画の中の「市を取り巻く状況」で触れたり、施策を取り巻く環境がどう変化しているかなど、文言の整理はできると思うが、施策や、基本事業として1つになると、検討が必要なので考えさせていただきたいと思う。 (企画政策係長)
31	<p>「5. 豊かな地域資源を活かした産業、観光の振興」で、農商工連携や第6次産業の創出がいわれる中、農林業の振興、商工業の振興を分けるのはおかしいのではないか。どちらに入れるのかなど、疑問に思っている。</p> <p>どちらかに入れるということか。</p>	商工業・農林業の振興については、6次産業化や農商工連携の取り組みがあり、連携する部分はあるが施策として分けたほうが分かりやすいと考えている。分けた上で、各分野で連携していく形を取っていききたいと考えている。 (企画政策係長)
32	例えば、魅力ある朝倉ブランドの開発を6次産業的な考えでやるなど、いろいろな考え方が出てくると思うので。意味を込めてそこに入れると。 体系化の中で持っていくにくいというご回答だったと思う。検討をお願いします。	
33	別紙2の「2. 人権・同和問題に関する相談・支援体制の充実」の基本事業の構成の中の「指標名」に、子どもの虐待の現状値を入れてほしい。福岡県は全国でも子どもの虐待に関する相談が多く、子ども虐待の	子どもの虐待の指標を設けることについては、担当課から指標の追加を求める意見が上がってきている。検討し、整理したい。 (企画政策係長)

発言者	質問概要	事務局答弁概要
	項目も素案に入れてほしい。また担当課も明記することで、事業の明確な取り組みになる。	

(4. その他)

(事務局)

- ・ 次回日程は12月末を予定していたが、来年1月上旬になる可能性もあり、正副会長と調整した上で、決まり次第連絡する。

以上